

JBA 総発 30086 号
2019 年 3 月 11 日

チーム責任者 各位
JBA 公認コーチ 各位

公益財団法人日本バスケットボール協会
会長 三屋 裕子
[公印省略]

JBA として「暴力暴言根絶」の取り組みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、JBA はバスケットボールの価値を高めていく事を目的にインテグリティ委員会を設立(2018年12月25日)し、メッセージとして「クリーンバスケット、クリーンザゲーム」の発信、さらに喫緊の課題として「暴力暴言根絶」に取り組んでいくこととなりました。

つきましては、下記内容についてご確認いただき、バスケットボールファミリーみなさまのご協力により課題解決に向け進めていきたいと考えていますので、何卒ご理解をよろしくお願いします。

記

1. JBA からのメッセージ **【クリーンバスケット、クリーンザゲーム～暴力暴言根絶～】**
2. 実施時期 2019 年 4 月 1 日(月)～ ※3 月開催 Jr All Star および全国ミニで先行実施
3. 実施内容
 - 1) 大会会場にバナーを貼付し啓発活動
 - 2) 大会プログラム掲載による啓発活動
 - 3) 競技規則、プレーコーリング・ガイドラインの徹底
 - ① コーチの暴力的行為および暴言といった振る舞いに対しては、「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」の観点からテクニカルファウルとする。
 - ② コーチがテクニカルファウル(C)を 2 個宣せられた場合、失格退場とする。
 - ③ 失格退場となった場合、現段階では規律案件とはせず次試合の出場停止処分等は科さない。※3)①②については、ルール変更ではなく適用の徹底です。
4. 周知方法
 - 1) 2月16日(土) 全国専務理事連絡会(全国へ協力依頼)
 - 2) 2月24日(日) 全国審判長会議(審判員への協力依頼)
 - 3) 3月11日(月) Jr All Star・全国ミニ出場チームへ通知および TeamJBA に登録しているチーム登録責任者・コーチライセンス登録者へ通知
5. 添付資料
 - ①. インテグリティ委員会(概要資料)
 - ②. プレーコーリング・ガイドライン 20190401 版
【参考資料4】として、暴言・暴力的行為に対する対応方針を掲載しています。
また、【参考資料3】抗議の取り扱いについて(2019 競技規則改正)もご確認ください。
6. その他 上記3の実施に向けては、皆様方のご意見を伺いながら必要な修正を行い、進めていきたいと考えています。

以上